

- 7月30日終了週の米新規失業保険申請件数は2週間ぶりに増加し、およそ8カ月ぶりの高水準だった前々週に近づく動き。7月23日終了週の失業保険継続受給者数はおよそ3カ月半ぶりの高水準に。
- 8月5日に発表される7月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数について、昨年1月以降で最低となる前月比25万人程度の増加が予想されている。雇用改善は、足もとで勢いの鈍化がうかがえる。

新規失業保険申請件数は8カ月ぶり高さに近い水準

4日に発表された7月30日終了週の新規失業保険申請件数は季節調整済みで26万件と、2週間ぶりに増加し、昨年11月13日終了週以来、およそ8カ月ぶりの高水準だった前々週の26万1千件に近づく動きとなりました。

季節調整前では20万6千件と、2週間連続で減少しました。州別では、マサチューセッツが大幅に減少した一方、コネチカットは大幅に増加しました。

このほか、7月23日終了週の失業保険継続受給者数は季節調整済みで141万6千件と、市場予想の138万5千件（ブルームバーグ集計。以下、同じ。）を上回り、4月2日終了週以来、およそ3カ月半ぶりの高水準となりました。

同受給者数は5月21日終了週には1969年12月27日終了週以来、およそ52年ぶりの低水準を記録しましたが、その後は緩やかな増加基調となっています。

7月の米雇用統計は雇用者数の伸び鈍化が予想

先に発表された6月の米雇用統計で、非農業部門雇用者数は前月比37万2千人増と、市場予想の同26万5千人増を上回りましたが、増加幅は2021年5月以降で下から2番目の低水準でした。また、時間当たり平均賃金は前年同月比+5.1%と、2020年6月以降で最大の伸びとなった今年3月の同+5.6%から伸びが3カ月連続で鈍化しました。

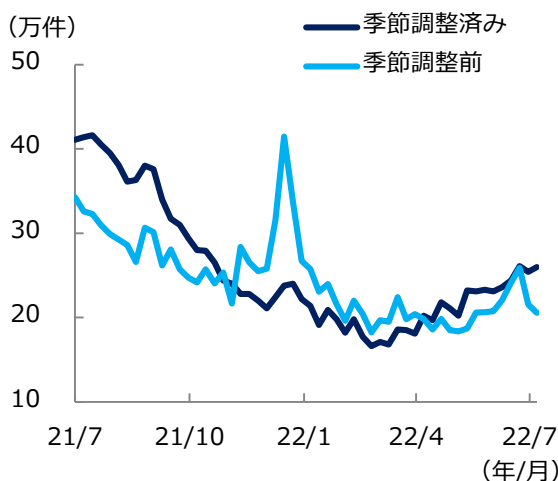
8月5日に発表される7月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数について、昨年1月以降で最低となる前月比25万人程度の増加が予想されています。雇用統計は総じて改善継続を示しているものの、足もとで勢いの鈍化がうかがえます。

こうしたことに加え、新規失業保険申請件数や失業保険継続受給者数が足もとで緩やかながら増加基調をたどっていることから、今後の動向に注視が必要です。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

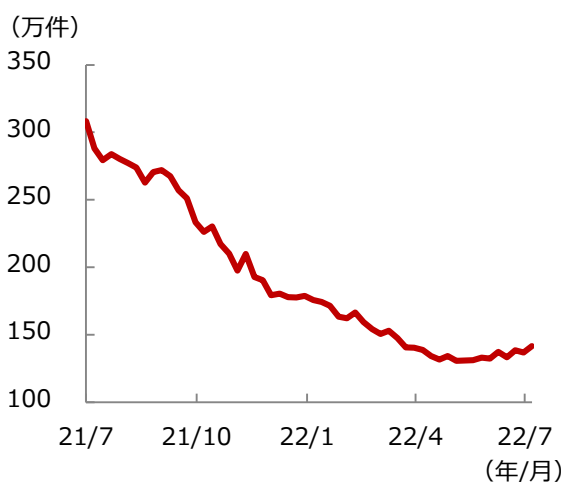
※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

米新規失業保険申請件数の推移



※期間：2021年7月24日～2022年7月30日（週次）

米失業保険継続受給者数の推移



※期間：2021年7月17日～2022年7月23日（週次）
季節調整済み

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。